

## ★ 羅針盤

No.82

東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4

電話 03-3790-1751

URL <http://www.tokometal.co.jp>

(見学受付)

電話03-3790-1751 又は 各営業担当

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

年頭に際し、この年が皆様方にとってご健康でご活躍される一年となりますよう祈念申し上げます。

当社は昨年暮れ、構内に中間処理ヤードを設け新規設備を増設いたしました。

敷地面積も広がりましたので、本年もスクラップ類、産業廃棄物共に皆様のお役に立て

る施設になると思いきと、以前にも増したりサイクルサービスを目指してまいります。

今年の干支「丁酉」は、「丁」は成長期の安定、「酉」は収穫期で利を得るという事を意味

し、すくすくと成長して収穫を迎える嬉しい年になるとも取れますが、そうは問屋が卸さ

ないところが「干支」でもあります。浮かれず、足元をしっかりとした商売をしていきたい、

未来に向けて色々な準備を進めていきたいと思っております。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



## ★ 羅針盤

## 鉄・非鉄スクラップ・市況からの1月予測

営業部 Y の考察

鉄スクラップ	→	考察) 12月東京製鉄宇都宮工場特級価格の月初スタート25,000円/トン、13日1,000円/トン、15日500円/トン、22日には1,000円/トンと、合計2,500円/トン上昇、月末は27,500円/トン。鉄鉱石、原料灰の高騰、製品価格の値上げによりスクラップの需要が高まることから1月も上げが予想されます。
銅	→	考察) 12月はLME5,740ドル/トン、国内銅建値710,000円/トン、TTS115.33円でスタートし、中盤価格を下げ最終的にはLME5,515ドル/トン、国内銅建値690,000円/トンまで下がりました。円安が現在の価格を支えている状況。1月に関しては、相変わらず市中の荷動きは良くないし、メーカーの購入意欲も需要も全体を通すと決して良い状況ではない。LMEも下がっているため下がると考えられます。
アルミ	→	考察) 12月は、LME1,720ドル/トン台でスタートし最終的には1,700ドル/トン台。1月に関しては、LMEが1,700ドル/トン台をキープし、円安、製品の値上げ等により、上がると思われま。
プラスチック	→	考察) ここ数か月同様、低品位及び、MIX等の売先確保が非常に厳しい状況。有価物が産廃扱いになるものも増えてきました。1月に関しても単一製品以外は価格が付かなくなると考えられます。

12月予測の自己評価

鉄スクラップ	×	アルミ	×
銅	×	プラスチック	○

## 「私の地元・学生時代」(第2回)

～地元でのお正月～

皆様、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

さて、正月はどうお過ごしになったのでしょうか？

私はといえば、学生時代ののんびりとした気持ちから一変した会社人の生活に慣れることに必死の半年でしたが、なんとか会社のリズムもつかみ、仕事への意欲が出てきたところです。時間に追われる毎日ですので、正月休みは疲れをとうとう地元の古河へ帰り、実家でゆっくり過ごしていましたが、初詣だけは少し遠出して牛久という所まで行って参りました。

牛久大仏という銅像としては世界一大きな大仏があるのです。その高さ、何と120m。ディズニーランドにあるシンデレラ城の2倍に相当し、有名な奈良の大仏でさえ手のひらに収まってしまふほどの巨大さの事。同じ茨城県出身でありながらそんなに大きな大仏があるとは今まで知らず、一度見てみたいと思い、この機会にお参り、というより見に行ったのです。

牛久大仏の事業主体は、かつて京都の東本願寺から分離独立した浄土真宗東本願寺派本山東本願寺との事。その一派は茨城を関東における布教の拠点とした為、県内にはゆかりの寺や事跡が多く残っており、この牛久の地もそのひとつなのだそう。

これほどまで大仏が大きい理由は、本尊阿彌陀如来像のスケールモデルとして作った為だとか。実際に目の当たりにすると、想像以上の迫力に圧倒されてしまいました。

大仏の近くには畑や田んぼが広がっているだけで他に高い建物が無い為、遠くから見てもかなりの存在感があります。

ふと、こんなにも大きな大仏を昔の人はどうやって作ったのだろうと不思議に思い調べてみましたが、実はこの大仏が完成したのは、今から25年前の1992年なのです。その為、造りも近代的な構造で、中には鉄骨が通っており、高層ビル等と同じ工法で作られているそうです。

また、信じられない事に内部にはエレベーターまで存在する為、上からの眺望を楽しむ事も出来るのです。

大仏の中をエレベーターで移動するなんて、なんとも奇妙ですね。

大仏の他にも、敷地内に動物公園や花畑、食事処も併設されているので、子供でも楽しむことができます。

東京からそれほど遠い場所ではないので機会があれば是非、行ってみてください。

そういえば、今回は私の学生時代について書く前回申し上げておきながら、大仏の話になってしまいました。次回こそは書こうと思っております。それではまた。

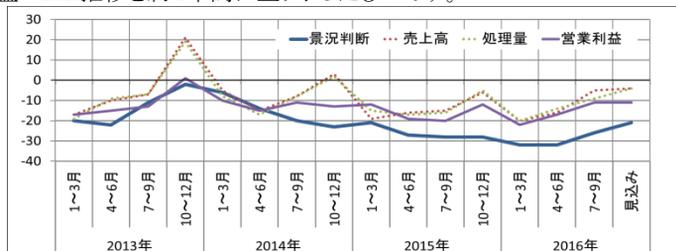
トライメタルズ株式会社 高橋諒

## ★ 羅針盤

## 産業廃棄物処理業界 景況動向調査結果

今回は「羅針盤」No.68(2015年11月号)で一度ご紹介した「産業廃棄物処理業景況動向調査結果」を、再び取り上げました。

本調査は、景況判断、売上高、処理量、契約単価、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数について、(公社)全国産業廃棄物連合会が四半期毎に調査を行っているもので、その結果は「D.I.\*1」という指数化した指標を使って判断しております。次のグラフは、本調査の最新版(平成28年12月)の中から、景況判断、売上高、処理量、営業利益のD.I.推移を約4年間に亘り示したものです。



売上高と処理量とは、D.I.も「動き」もほぼ同じ(決定係数\*2=0.96)です。営業利益は処理量にやや近い動き(決定係数=0.77)をしておりますがD.I.は低めを示しております。

景況判断D.I.は売上高や処理量との相関は余り見られませんが、営業利益との間で割合に良い相関(決定係数=0.54)を見ることが出来ます。D.I.の定義上やはり事業成績の良し悪しが、景況判断に影響するものであろうと思われま。

これらのD.I.は10～12月の四半期に増える傾向があり、2013年(平成25年)の10～12月期が、本調査を開始した2009年(平成21年)以降で一番良い値を示しており、未だその値を超えることが出来ておりません。

以上のデータの詳細や2012年以前の状況も、(公社)全国産業廃棄物連合会で公表されておりますので、ご参照ください。

<http://www.zensanpairen.or.jp/federation/02/06/>

さて、折れ線グラフでの推移を俯瞰すると、昨年の前半が底で徐々に右上がりの傾向を見ることが出来ます。本年は良い年になるのではないかと、新年早々期待しております。

## 【参考】

\*1 D.I.: Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの各種判断を指数化したものです。

「羅針盤」No.68で詳しく説明しております。ご参照ください。

\*2 決定係数: 二組のデータ群を直線で回帰した時に、どの程度うまく当てはまっているかの目安を表します。

決定係数は0～1の値を取り、1がもっとも精度が高く、目安として、「0.8以上 非常に良い」「0.5以上 良い」「0.25以上 まあまあ」「0.25以下 良くない」とされております。